

みなぎの通信



県立吉川高等学校 学校だより
令和5年度 第1号
2023年4月17日（月）発行
【ウグイス】

「恩送り」テーマに生徒一人一人が主役の学校づくり



花開き、万物が生きることの喜びを歌い上げる春、4月。令和5年度が始まりました。本年度は本校にとって**創立50周年**の節目の年です。生徒数186名（各学年2学級）の「小規模校ならではの良さ」を生かし、「師弟同行」の校風を引き継ぐとともに、「『能力の開発善用』」の理念のもと、学び続ける力、未来を描く力、自らを律する力、他者とつながる力を備え、地域社会と将来世代に貢献できる人材を育成すること、端的に言えば「**恩送り**」をスクール・ミッションに掲げ、生徒が自己の成長を日々実感でき、一人一人が主役として輝くことのできる学校づくりに邁進していきます。

本通信では、1年間、「吉川高校生の成長物語」を綴っていきます。ご愛読いただけましたら幸いです。

50周年記念事業ロゴマーク：2年生（当時）女子生徒が制作した「ハート形の50と幸せ運ぶ青い鳥」の作品に、吉川町の特産物である山田錦（酒米）と大粒ブドウをあしらいました。「地域と共に歩んだ50年間」を象徴するものです。

心のスイッチON ~始業式~

4月10日（月）午前に行われた1学期始業式。式辞のテーマは、「心のスイッチをONにしよう」でした。

誰もが持っている「心のスイッチ」を「ON」にするか「OFF」にするかで、人生（未来）は大きく変わります。「未来」がどうなるかは誰にもわかりませんが、「今、ここ」での自分の行動が「未来」の可能性を広げること、「今」が「未来」を創っていくことは確かです。

学年の階段を一つ上がった2・3年生の立派な態度からは、既に大半の生徒が「よし、やるぞ!」と自らの心のスイッチを入れていることが見て取れました。

学校周辺にはウグイスが多数生息しています。「若いウグイスは声の良い成鳥から鳴き声を学ぶ」そうです。「2・3年生＝声の良い成鳥、新入生＝若いウグイス」の関係が成立することを確信できました。



もちろん、「教職員は声の良い成鳥」として、「若いウグイスである生徒」の尊敬できる身近なモデルとなるよう尽力します。

明日の自分にワクワクしよう ~入学式~

4月10日（月）午後、仲田一彦三木市長ご臨席のもと入学式を挙行し、52回生62名を迎えました。

新入生に対して校長は、「光に向かって伸びる植物のように、よりよく生きたいという向上心を持って、自分の可能性を探求してほしい」、「自分を信じ、仲間を信じて、変わっていくことに、『明日の自分にワクワク』してほしい」と呼びかけ、新しい自分づくりへの挑戦を促しました。

また、本校が令和7年度実施の発展的統合の対象校であることを承知の上で、不安を抱きながらも本校を選んでくれた62名だからこそ、日頃の学習活動や特別活動等に差し障りが生ずることのないよう、教職員一同、全力を挙げて新入生を支援する（＝真心込めた「おせっかい」を焼き続ける）ことを約束しました。

62名がどのような成長物語を紡ぐのか、楽しみです。



🎉 喜び 🎉 感動 🎉 分かち合って **50年!**
高 兵庫県立 **吉川高等学校**

〒673-1129
三木市吉川町渡瀬300-12
Tel 0794-73-0068

